

平成27年度 飯田小学校 学校評価だより

(中間結果報告)

平成27年10月19日

《学校教育目標》

心をあわせ、はつらつと、学びの道にいそしむ児童の育成

よく学び、生活に生かす子

学校で学ぶことは楽しい…回答 97%

学校で学ぶことについての質問で、肯定的回答が児童・保護者で高くなっていました。

児童:「学校で学ぶことは楽しい」…97%

保護者:「お子さんは学校へ意欲的に登校していますか」…100%

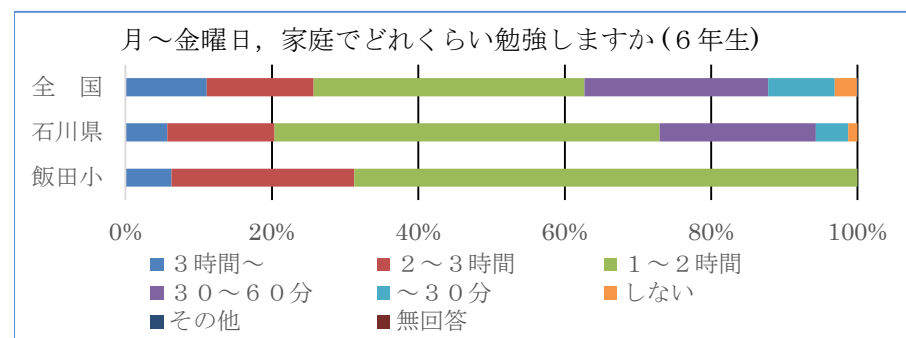
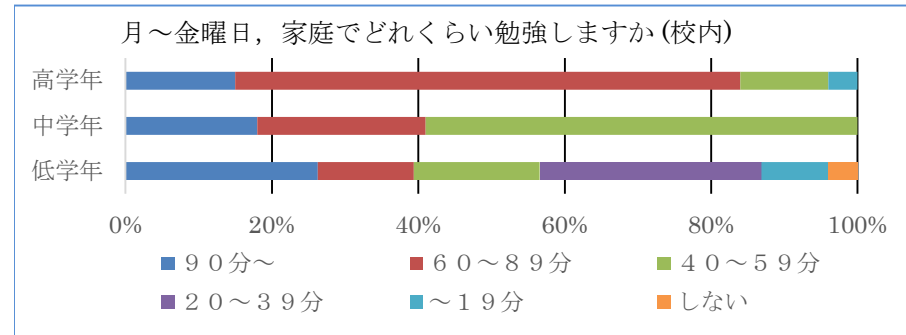
全般に児童の回答は肯定的傾向が強く、子どもたちは意欲的に学んでいるとみられます。子どもたちの自己肯定感の高さは、県や全国的傾向と比較しても高く、外国と比べて低い傾向にある日本の子どもたちとはよい意味で違っています。

6年生:「友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」

本校－87.5% 石川県－54.8% 全国－51.2% (全国調査より)
この調査は6年生限定ですが、本校全体を見ても、

児童:「相手を意識し、自分の考えを根拠を入れて、わかりやすく説明することができている」…94% となっています。

家庭学習の状況は…(上は校内全児童、下は6年生のみ全国調査から)



思いやりのある心豊かな子

友達が困っていたら進んで助ける…98%

秋の運動会で4つの縦割り班が、互いに協力し、助け合い、競い合いながら、成功へと導いたように、高学年が率先して活躍し、下学年がその姿を見て育っていくといった取組になるよう進めてきました。そんな活動の中で、人間関係づくり、コミュニケーションの大切さを考え行動する力の育成を図ってきました。

児童:「人が困っている時は、進んで助けている」…98%

しかし、日常生活の中でそうならない時はあるものですが、この意識の高さがあれば、周囲の声かけで子どもは動くはずです。また、

児童:「友だちの悪口を言わなかった」…95%

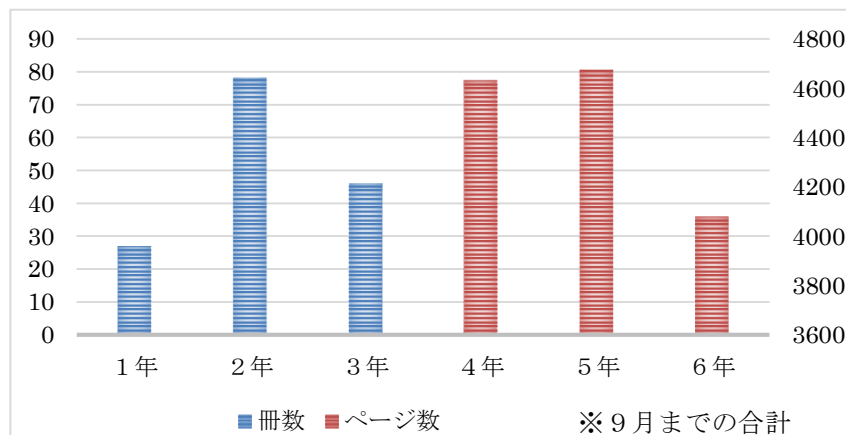
となっています。この件にしても、子どもは往々にして悪口を言ったり、喧嘩になったりすることは当然ありますが、普段からの意識があれば、たとえ起こったとしても事後の指導は行いやすくなります。

いじめ問題に対して、本校では毎月アンケートや付随して面接を行い、早期発見・早期対応に努めています。アンケートでは、

児童「先生はいじめなど困ったことについて考えてくれる」…98% となっていますが、保護者や地域の方の声をお聞かせ願えればより心強く感じます。

読書の推進 年間1～3年生150冊・4～6年生1万頁目標

今年度は、目標を低学年冊数・高学年頁数としてみました。市立図書館から借りて読む子がいる一方、読書量の少ない子もいるので、ノーゲームディ等の機会を生かして是非、本に親しんでほしいと思います。



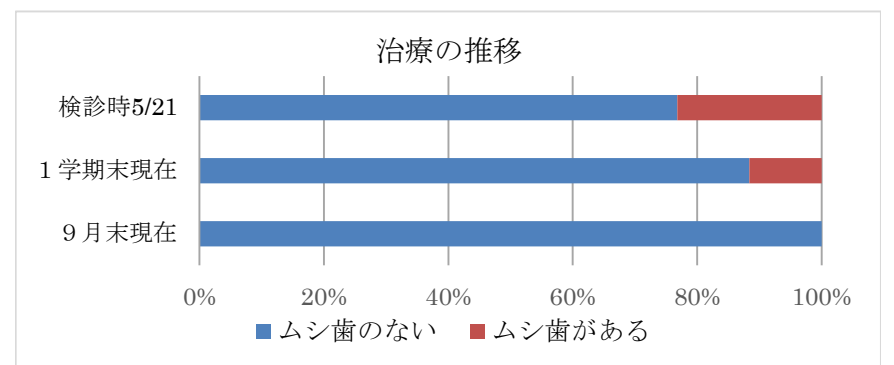
平成27年度前期の学校評価として7月に実施した児童・保護者・学校職員の三者によるアンケートをもとに、子ども達や保護者の皆様の意見をまとめました。後日、学校関係者評価委員の皆様による結果をお知らせしました。そこで頂いた意見も含めて学校改善の指標として中間評価を行いました。

今回より、保護者アンケート実施方法を変更しています。従来は1家庭1枚でお願いしていましたが、お子様お一人1枚でお願いいたしました。お手数をおかけしましたが、より正確な評価を得られると考えております。今後とも「開かれた学校」をめざし、今後の取組を進めていこうと考えます。今まで同様に、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

※以後出てくる割合の数字は、アンケートの「思う」及び「概ね思う」の回答を合わせて算出したものです。

健康で明るく、活力のある子

今年度のムシ歯治療…100%(治療中含む)



ムシ歯の治療率について、向上するよう取り組んでいます。春の歯科医さんの検診後、結果をお知らせしています。日ごろなかなか通院できないお子さんには、長期休業中等を利用していただくよう再度案内を出して、治療のお願いをしています。

泳力UP 今年の水泳記録会から

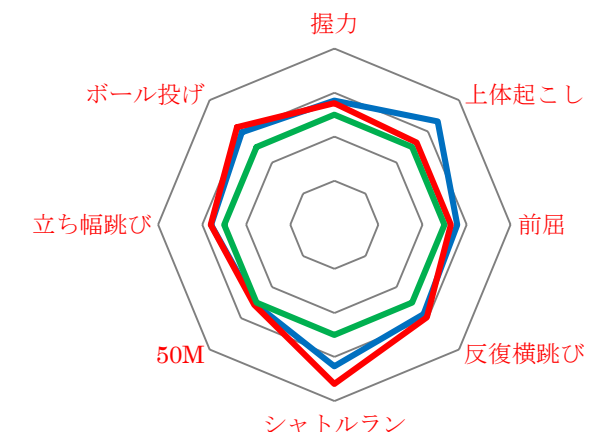
夏休み中に行った水泳記録会では、体育の授業や夏休み中の取組の成果が表れていました。特に50M完泳率がハイレベルです。

【完泳人数/参加児童数】記録会 8/12 ※欠席者を除く

種目	1年	2年	3年	4年	5年	6年
25M	0/10	4/11	6/13	8/8	9/9	15/16
50M	*	*	*	*	9/9	15/15

【体力テスト結果】

6年男子 6年女子 全国



昨年度に続き、本校の体力レベルは高いといえます。



7月保護者アンケートの結果

A：そう思う B：ややそう思う C：あまり思わない D：思わない E：わからない等

AB%：(A+B)/(A+B+C+D)

	アンケート項目	A	B	C	D	E	AB%
1	学校は教育方針や学校の様子など保護者や地域に対して情報を発信していると思いますか。	40	23	2	0	6	97%
2	学校が発信する「学校だより」や「ホームページ」を見ていますか。	24	38	4	1	4	93%
3	お子さんは、学校へ意欲的に登校していますか。	46	21	0	0	4	100%
4	先生はわかりやすい授業に努めていると思いますか。	31	25	2	0	13	97%
5	子ども達はわかりやすく相手に伝える力が育ってきていると感じますか。	18	39	7	0	7	89%
6	お子さんは家庭学習の習慣が身についてきていると感じますか。	23	28	11	2	7	81%
7	適切な宿題（量・質）を出していると思いますか。	26	28	5	3	9	87%
8	学校は、子どもの生活全体について適切に指導していると感じますか。	31	30	3	0	7	95%
9	保護者や地域の思いや願いを受けとめ、よりよく改善しようとしているように感じられますか。	32	23	5	0	11	92%
10	学校は、子どもの間違った行動に対して適切な指導していると感じますか。	31	26	3	0	11	95%
11	学校は、事故防止、避難訓練など安全・安心できる環境づくりに努めていると感じますか。	44	21	1	1	4	97%
12	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると感じますか。	34	26	2	0	9	97%
13	子どもに思いやりの心や礼儀を大切にしている態度が育ってきていると感じますか。	26	35	1	1	8	97%
14	学校は保護者に子どもの様子を見る機会をつくっていると思いますか。	43	24	1	0	3	99%
15	子どもに読書に親しむ態度が育ってきていると感じますか。	18	30	16	1	6	74%
16	児童は、しっかりとした挨拶や返事ができていると思いますか。	19	36	9	2	5	83%
17	お子さんは、早寝・早起き、朝ごはんを食べるなど規則正しい生活をしていますか。	24	35	6	1	5	89%
18	家庭に関する重点目標達成度合いはどうか。	17	42	7	1	4	88%

自由記述より

- ・学習や宿題はやらされている、こなしているところはある。それでも習慣になり、次のステップになればと期待します。
- ・自分で学校へ行く準備をし忘れ物をしないように心掛けていた。ただ、課外活動や習い事が重なると、リズムが崩れたり優先順位が狂ったり苦戦中です。（学校と家庭教育のステレオ式で効果を上げたいと思います。）
- ・週に1度はHPを見ますが、あまり更新されていないように思います。（目下、改善中です。）
- ・18の質問は個人を特定できるように思います。無記名はいいので、Q18は別の機会に質問してはどうか。
- ・大人への挨拶はしっかりできているのに、子供同士は交わしていない気がします。子供同士でもしっかりと挨拶をしてほしいと思います。（校内やおはよう挨拶運動で取り組みますが、家庭でもお願いします。）
- ・先生方の努力に感謝しています。
- ・質問を率直に書いて後で（ ）書きで学校の取組の事を書くほうがよいと思います。あえて取組について保護者に読ませたいということなら今のままでよいのでしょうか。
- ・学校の準備をしたつもりになっている事が時々あるので、自分で確認する事を身につけられたらと思います。
- ・外でのあいさつの声が少し大きくなってきた。
- ・子によって、又は学年によって挨拶の差を感じる。本来は家庭ですべきことを学校でもやって頂き有難いです。

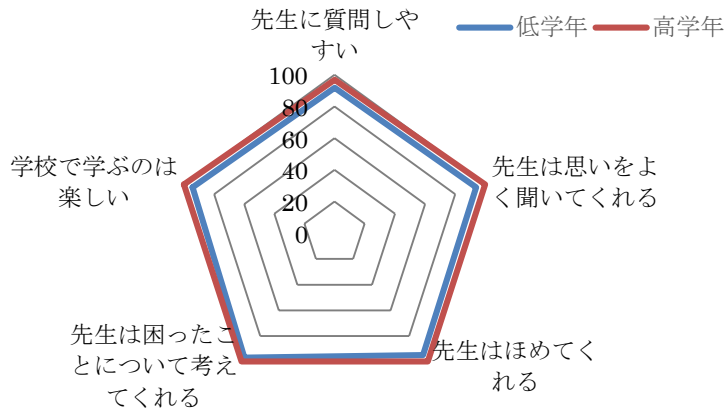
《小中連携の取組》 今年度は、緑丘中学校のテスト週間に合わせて、中学校区内の6小学校でもじっくりと家庭学習に取り組む期間としています。小学生・中学生のいるご家庭にとっては、タイムリーな取組になるとと思います。

教職員の自己評価

	本年度の重点目標	自己評価
1	学びが楽しい学校づくり	B
2	主体的に課題解決する児童の育成	A
3	学力向上の基盤づくり	B
4	家庭学習の確立	B
5	基本的生活習慣の確立（挨拶）	C
6	道徳教育の充実	D
7	規範意識を高め、いじめを見逃さない学校づくり	A
8	読書活動・図書館利用の充実	D
9	体力の向上	A
10	特別支援教育の充実	A
11	危機管理の充実	B
12	自己健康管理能力の向上	B
13	食育の充実	A
14	家庭・地域との連携協力体制の確立	A
15	学習環境の整備・校内環境美化	A

- ・5の挨拶に関係した項目では、児童自身の評価は93%になっていますが、保護者の評価が83%に留まっています。学校・家庭・地域で連携し一層の取組を進めたいと考えます。
- ・6の道徳教育については、ゲストティーチャーを招いての授業がまだ行われていない学級があるので低い評価となっています。11月中までに実施する予定です。
- ・8の読書活動については、表面のデータの通りです。今後は目標達成に向けて、目に見える取組を進めていきます。

児童アンケートの結果



学校関係者評価委員からのご意見

❶児童や職員の様子から 毎年思うことですが、児童の皆さんの姿が気持ちよいです。色々な際に学校に顔を出すとしっかり挨拶してくれます。『梅の里』を拝見して行事の多さに驚いています。年々ITC 機器の導入が進んでいることに感心します。6年生のタブレットを利用したところを見たかったと思います。

街中でも子供たちはしっかりと挨拶ができています。『梅の里』を届けてくれる子の礼儀正しさ、心のこもった姿に感心しています。

訪問した日が夏休み明けでしたが、授業に集中できていました。工夫された授業内容でした。

❷学校評価から ユニバーサルデザインについては、気づきませんでした。これから大事なことだと思います。挨拶については、校外でできないというより家庭内でできていないのではないのでしょうか。わが子が在学中、「学校ではできているのに家では…」と何度も思いました。遊びに来た友だちも挨拶ができていたので、家庭が甘えられる場所、緊張感を解いてゆっくりできる場所になっているからではないのでしょうか。

児童・保護者数が減少している中、割合による評価は難しいのでは、と思います。

読書量が足りないことが気になりました。朝読書に力を入れていただければありがたいです。

アンケート通りの高い水準に達していると思います。但し、指示がなくても自分で考えて動く能力に欠けるような気がします。

❸その外 『梅の里 No6』の印刷状態がよくなかったので、注意してください。楽しみにしている方もおいでるので。

『梅の里』や『飯小広報』により、教育方針や学校生活の様子、保護者の考え等よくわかります。読むと、学校がより身近

に感じられます。自身を振り返って、絵本から読み物への移行が難しかったと思います。中学年あたりの移行期が大切であると考えます。子どもたちへの、本との出会いを助けることができれば幸いです。

学校のIT化の進行に不安を感じました。自身がアナログ人間なので。

夏休みラジオ体操の区割りを改善し、もっと多くの児童が集まって行えばどうでしょうか。

外遊びが少なく、ゲーム機持参で遊びに行くことが多い。直接関わり合う姿が減っており、学校では、関わり合う活動が大切になるのではないのでしょうか。

